



シルバー人材センター
キャラクター「チエフクロ」

高齢者が働くことに生きがいを感じ、地域社会に貢献する

VOL. 15

平成31年1月1日号

NARITA

銀のたまご



JR成田駅前の「成田からくり時計」

謹賀新年

「今年もよろしくお願ひします」

特集

女性理事座談会

公益社団法人 成田市シルバー人材センター



新年のごあいさつ



理事長
下村 精哉
(千葉県シルバー人材センター連合会会長)

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかで、晴れやかな新年を迎えられたことと心よりお祝い申し上げます。

年頭に当たり、成田市及び成田市民の皆様には旧年中に賜りました格別なご支援とご協力に厚く御礼申し上げます。

本年は亥年で、猪は無病息災の象徴とされ「田の神・作物の神」ともいわれており、実り多き年であるように切に望むものであります。

国の内外を見渡すと、トランプ米大統領の打ち出す保護主義による米中の貿易摩擦がどこまで続くのか、先行き不安や不透明感の世界経済に与える影響が大きくなっており、また、入管難民法などの改正による外国人労働者の受け入れ拡大が注目されます。

少子高齢化が進み、生産年齢人口

が減少する中、サービス業等の出入不足分野や介護・育児等の現役世代を支える分野において高齢者の就業を推進することが、経済・社会の維持・発展のため求められております。

全国的にみると、36年度までに第二次会員100万人計画を掲げておりますが、会員数の減に歯止めがかかりません。また、会員の高齢化への対応が今後の大きな課題となっております。

シルバースタッフを取り巻く厳しい環境の中、幸いにも成田市シルバー人材センターの業績は順調に推移しております。引き続き、シルバースタッフの発展の為、会員の拡大、就業開拓、安全就業の徹底を図り、更なる事業内容の充実に努めてまいります。

特に女性会員拡大に注力致します。本年も「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、会員が楽しく、元気に働くことよって地域社会の担い手として活躍するものと確信しております。

最後に、新年が会員皆様と皆様のご家族にとって明るく、幸多き年になりますよう心より祈念申し上げます。

して年頭の挨拶といたします。



成田市長
小泉 一成

年頭にあたりまして、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、旧年中に賜りました市政への温かいご支援、ご協力、また日ごろの地域社会におけるボランティア活動に対するご尽力に深く感謝申し上げます。

さて、我が国は超高齢社会を迎え、2025年には団塊の世代の約800万人が後期高齢者となります。このような中で、社会の活力を維持し、持続的な成長を可能とするためには、高齢者が活躍できる社会を実現することが不可欠であります。

本市の平成30年9月末における60歳以上の方の人口は37,269人であり、総人口の27.9%を占めます。定年を迎えられた後も、それまでに培われた知識や経験を生かしてまだまだ社会に貢献したいという意欲をお持ちの方は多いことと思います。

また、人は75歳を迎えると、介護が必要になる方の割合が急激に高まるといわれています。本市が平成30年3月に策定した「第7期成田市介

護保険事業計画」におきましても、心身ともに健康で自立して生活できる期間である「健康寿命」を延ばすために、皆様の就労は介護予防にもつながるものと位置付けております。

このようなことから、成田市シルバー人材センターにおかれましては、会員の皆様による自主的・主体的な運営と共働・共助のもと、市民の多様なニーズに応じた新たな職域を開拓し、就労機会を確保する基盤として更なるご発展を期待する次第であります。

本市としましても、次世代に誇れる空の港まち、生涯を完結できるまちづくりに向けて、働く意欲のある方々が、年齢にかかわらずその能力を存分に発揮し、生きがいをもって活躍し続けられるよう支援してまいります。

結びに、会員の皆様におかれましては、今年も健康と安全には十分留意されながらお仕事にあたられるとともに、会員の皆様、そしてご家族の皆様のご多幸を心から祈念申し上げます。



● シルバー人材センター 〓 事務局紹介 〓

今年もよろしくお願ひします

あけましておめでとうございます。本年も下記の職員でシルバー人材センターのさまざまな事務的業務を行ってまいりますのでよろしくお願ひします。

で適格な会員に就業を紹介しします。また、会員の就業上の問題や悩みなども随時受け付けています。

〇 担当を紹介しします

■ 常務理事 諏訪峰雄

■ 事務局長 山下昌起

■ 庶務担当

前田淳子、高橋直美

シルバー人材センターのさまざまな事務的業務を行っているのが事務局です。事務所は、JR久住駅近くの久住中央地区にあり、事務局以下6人の正規職員と4人の臨時職員が職務に当たっています。

主な仕事は、仕事の受注と配分ですが、会員の配分金の計算や事業計画、センター運営に係る事務など庶務全般にわたるものや、会員の就業や安全確保、資材・用具の管理など業務全般におよぶさまざまな事務を処理しています。

〇 就業紹介や相談も

会員の就業紹介や相談も、事務局の重要な仕事です。各会員の希望と能力に応じた働き方ができるよう調整したり、新たな就業先を開拓したりしています。発注された仕事の情報は、可能な限り全会員に周知し、その上

受注や見積り、契約に関することや会員との連絡調整を行っています。また、会員を派遣する事業を担当しています。

■ 受付事務・請求事務担当

曾矢清次(臨時)

福田あい子(臨時)

植木剪定や除草の受け付けを行っています。

■ 植木班・除草班担当

出山栄(臨時)

受注した仕事の配分調整を行っています。

■ 就業開拓専門員

中嶋由季

新規就業先の開拓および家事援助サービス事業を行っています。

■ 入会事務担当

曾矢清次(臨時)

入会希望者説明会や入会手続き、それらに伴う連絡調整などを行っています。

〇 まほうじい連絡ください

センターが主にお引き受けできる仕事は、日常生活に密着した、臨時的かつ短期的な業務です。危険・有害な作業や重労働の場合はお受けできません。

会社やご家庭で「こんなことを頼みたい」というときは、どうぞお気軽にご相談ください。



※仕事の依頼や入会に関することはセンター事務局(36・6161)へ。

特集 女性理事座談会

テーマ「女性会員にできること」

働くこと以外の魅力もPR!

本センターの会員数に占める女性の割合は20.8%と少なく、千葉県内の比率を下回っています。そのため、お客様から仕事の依頼があっても要望に応えられないなど、大きな問題となっています。そこで今回は、新たに就任された3名の女性理事にこのことについてお話を伺いました。



堀江 道子 理事

平成29年9月入会 土屋在住



古川 順子 理事

平成27年4月入会 玉造在住



竹内 芳子 理事

平成27年5月入会 並木町在住

- 司会**…シルバーの仕事についてどう思われますか。
- 古川**…自分の特技を活かせることに喜びを感じています。生きがいと誇りを持って働いています。他の皆さんもそれぞれの場所で頑張っていると思います。
- 竹内**…1年に何回かできそうな単発の仕事をしています。働いて得たお金を自分の趣味のために使うことで働く喜び、充実感もあります。
- 堀江**…仕事をすることで社会参加ができ、お金だけを目的にせず、そのなかで新たな仲間もつくれ仕事以外のこともいろいろあって、みんなが集まって楽しめるのがいいと思います。
- 司会**…シルバーで女性に適した仕事はありますか。
- 竹内**…男性の中には農家の手伝いなどやっている人もいますね。女性でも興味のある人はいるのでは。
- 古川**…主婦でもできる簡単な農家の仕事があると知り合いから聞きました。その辺のところを開拓してみたらどうでしょうか。
- 堀江**…そういう仕事は農村部だと思うのでそこまでの行くのが難しそうですね。
- 司会**…シルバーは就業先まで自分で行かなければなりませんがこの点についてはどうですか。
- 竹内**…車のない女性会員もいるので就業先が限られますね。交通手段が全くないということはないとは思いますが、バスなどを乗り継いだりすることを考えると就業を断る人もいると思います。
- 堀江**…私は今、駅まで徒歩、駅からバスを使って就業先まで通っています。歩くことで気分転換にもなるし、車窓からの景色をみることもいいなと思っています。自分の持ち場(就業先)があり、行くだけでも気分転換になりますね。
- 司会**…女性会員の親睦や新規女性会員の増加策についてはどうですか。
- 古川**…新規女性会員募集に対して、清掃や草取りだけでは難しいと思います。先日の健康・福祉まつりでも会員募集の声掛けの時、「お掃除はいやだわ。」という声が多かったです。清掃以外で管理業務があることなどを伝えると「パソコンができないからダメね。」という人もいました。
- 竹内**…清掃だけではなく、ご近所の高齢者や子育て中の人など、手が足りないときに一、二時間お手伝いに行ける人を集めれば女性会員の就業につながると思います。



左から古川理事、堀江理事、竹内理事

古川…自分の空いた時間を有効活用することです。私の前の就業場所(観光案内所)も、長い時間であればできるという人はたくさんいました。

堀江…シルバーには仕事以外の楽しみがあることを伝え、仕事以外の仲間作りもできることをアピールすることも大事なのは。女性が楽しめることがないと集めにくいですね。

古川…募集については、働くということと考えると女性会員は若いほうがいいのですか。

司会…年齢に関係なく元気で働ければ大丈夫です。

古川…仕事の内容や仕事以外の活動も、女性にとって魅力のあるものでないとシルバー会員になってもいいと言ってくれる人は少ないと思います。

司会…会員を増やすには仕事プラス何が必要だと思いますか。

堀江…女性会員を増やすために2月に開催されるシルバー祭りや、普及啓発活動として私たち3人が女性会員の勧誘や、既存会員の親睦会への参加を呼びかける活動をするのもいいと思います。

古川…声掛けして人集めをすることは大切です。キャンペーンとして、会員による1年間一人一声運動はどうでしょうか。

竹内…一人一声運動はいいと思います。そのためには女性会員対象の親睦会を更に充実させることも大切だと思います。前回の親睦会では各自楽しそうに、発言することができて良かったという意見がありました。疑問に思うことを事務局で答えてくれたことも良かったと思います。仕事以外の活動で楽しめることがあるということもアピールポイントになりますね。

古川…会員はこんな活動もしています。

すということ、親睦会の時に何か小物を作ってシルバー祭りで展示するのもいいですね。それから活動している様子をパネルにして掲示するのも分かりやすいと思います。

竹内…ひとり何かをするのは大変なので、お互いにみんなで声掛け合ってということなら始めやすいですね。

古川…親睦会で始めた簡単な小物作りが軌道に乗って、その作品が販売できるくらいになればいいと思います。そうすることで、女性会員の活躍の場も増え、それを見て会員になろうと考えてくれる人も増えるのではないのでしょうか。

堀江…親睦会だけでなく教養に関することも必要と思うので、料理教室などをやってもいいと思います。

竹内…既存会員がシルバーに入会して良かったと思えなくては一人一声運動も広がりませんね。

堀江…女性会員がシルバーで働くことの楽しさを感じてもらえるように、私たちも理事として何ができるかを考えていくことがこの座談会を通して必要だと改めて思いました。

司会…本日はありがとうございました。

● いつまでも輝く女性を目指して ● **第2回親睦会開催決定!**



第1回親睦会(赤坂ふれあいセンターで)

女性会員の親睦を図り、いつまでも楽しく元気に働くために、今年度2回目の親睦会を開催することになりました。

今回は、食事会で会員同士の交流を深め、小物づくりとカラオケで脳を活性化します。皆さんお気軽にご参加ください。

日時=平成31年1月23日(水) 正午～3時30分
場所=赤坂ふれあいセンター和室
会費=100円(材料代)
 ※昼食・飲み物は各自ご用意ください。また当日は小物づくりを行いますのでタオル、縫い針のご用意をお願いします。

普及・啓発活動 積極的なPR活動実施中!

成田市 健康・福祉まつり

秋晴れの中、17回目となる成田市健康・福祉まつりが10月20日・21日の両日、保健福祉館(赤坂)を会場に開催されました。会場では健康に関する講演会や健康チェックコーナー、ロードトレインやうなりくんふわふわドーム、福祉団体による模擬店などの多彩な催しがあり、たくさんの市



来場者へチラシを配布



ふわふわドームを手伝う会員

民が来場しました。

このまつりには本センターも普及・啓発活動の一環として毎年参加しているもので、PRチラシの配布や会員募集を積極的に実施。特に入会資格のある来場者に対しては、会員になって働くことで元気で健康に過ごせることや仕事の内容について分かりやすく丁寧に説明しました。

また、ボランティアとして参加をした会員は、来場者のカウントやロードトレインの受付などでイベントを盛り上げました。

成田市産業まつり

11月17日・18日、恒例となった第38回成田市産業まつりが成田国際文化会館(土屋)を会場に盛大に開催されました。この催しは成田市の商工業・農業などを広く知ってもらおうと毎年開催されているもので、本センターでは健康・福祉まつり同様毎年このイベントに参加して普及・啓発活動を行っています。

今年は天気にも恵まれたため、会場にはたくさんの方々が詰めかけ例年以上の賑わいを見せるなか、本センターでは新しくポスターを作成するなどブースの展示をリニューアル。たくさんの方々にセンターを知ってもらうとともに新規会員の募集もしようと、チラシやポケットテッシュ、名入風船などを配布し、PR活動を行いました。

普及・啓発活動には、下村理事長をはじめとする理事や事務局職員、広報部会員が交代であたり、用意した配布グッズを手に来場者への声掛けを行いました。

また、産業まつり実行委員会から本センターが委託を受けている会場清掃作業では、会員4名が場内の清掃と美化に努めました。



オレンジベストで会場清掃



リニューアルした出展ブース

新入会員紹介



中島 純二さん
(吉岡)

中島さんは昨年7月に入会しましたが、会社を退職してからしばらくは趣味のゴルフや映画鑑賞などをして過ごしていたそうです。その内にそれだけではヒマで働いていたほうがよいと感じるようになり、以前勤務先で利用し存在を知っていたシルバー人材センターに入会してみようと思われたそうです。

現在の就業は、清掃とその際に出るゴミを回収するトラックの運転をしています。仕事の内容は8時にセンターを出発し、湯川駅、JR成田駅西口でゴミの回収、京成成田駅東口で清掃、駅周辺清掃で出るごみの回収、これらをいずみ清掃工場へ搬入し11時にセンターへ帰所、と短い時間で何カ所も回るとのことです。仕事について何うと「他の会員も同乗し移動するので常に気を引き締め、安全運転を心掛けています。シルバーの理念、共働・共助の精神で

仕事をしています。まだまだ若いつもりでいるので力仕事も進んでやっています。」とのこと。また、「市民の皆さんに暖かい言葉を掛けてもらうことも励みになります。」とこやかに答えてくれました。

現役時代は製紙会社に勤務し、再生紙製造の過程で古紙に印刷されている文字を消す薬品の研究や、工場見学案内などをしていたそうで、研究に必要な危険物取扱者の資格を取ったり、見学者からの質問に分かりやすく説明できるように必死に勉強したりしたそうです。

ほかにもキャラクターカードの製造はとても大変だったなど、興味深い話をいろいろ聞かせていただきましたが、「紙についてしゃべらせたら一日あっても足りない」と生き生きと話される姿がとても印象的でした。



トラックでセンターを出発

募集

会員になりませんか

まずは入会説明会に

シルバー人材センターでは、常時会員を募集しています。長年の職業生活から引退したけれど、健康維持や生きがいづくりのために働きたいという希望を持ち、それにふさわしい意欲と体力をお持ちの方は、ぜひ入会をご検討ください。

- 入会資格は次の通りです。
- 原則として60歳以上の人。
- 成田市内に居住されている人。
- 理念に賛同され、お互いに協力し、助け合い、いたわりあって就業できる人。

入会説明会は、毎月最終水曜日の午前10時からセンター(久住中央)で開催しています。ただし、祝日や年末は日程が変わる場合がありますので、事務局にお問い合わせください。また、センター以外の場所で、年に2、3回の特別入会希望者説明会を開催していますので「広報なりた」などでご確認ください。

▽面談会後に入会手続き

入会説明会後に、入会申し込みをされた方を対象に、毎月第2水曜日

午前9時30分からセンターにおいて代表理事との面談会を行います。ここでは一人15分程度で健康状態や就業の希望などについてお話を伺います。

後日、理事会の承認を得て正式に会員登録されます。

※くわしくはセンター事務局(36・6161)へ。住所〒286・0819 成田市久住中央1・12・3。



多くの入会希望者が集まった説明会(赤坂ふれあいセンター)

わたしの趣味 —ハワイアンフラダンス—

川崎 敏子 会員 (八代)

ハワイアンフラダンスは、今指導していただいている先生とPTAを通して知り合い軽い気持ちで始めました。元々エアロビクスをやっていて体を動かすことが好きでしたので、すぐにフラダンスの魅力にはまっていきました。今ではフラダンスのない生活



手作りのレイと髪飾り

は考えられません。フラの動きは手話と同じで物や言葉を手の形で表しています。これをほぼ手作りの衣裳、レイ、髪飾りを身に付け、ハワイの音楽に合わせて表現することで、と

ても美しいダンスとなります。しかも腰を落としての踊りなので、足腰も鍛えられます。最近の悩みはフリがなかなか覚えられないことですが、イベントなどで皆さんに見ていただくことで皆さんに見ていただくこと、また、一人ではなく仲間がいて一緒に踊る楽しさもあるので、頭と体を使いながら懸命に頑張っ



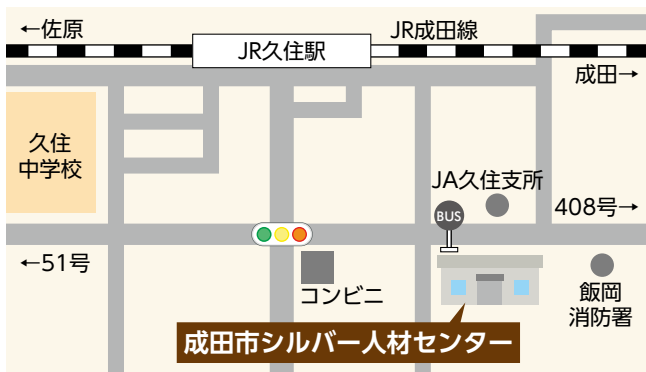
てカバーしています。2年に1回大きなステージで発表会もあるので、これからも体の続く限りフラダンスを続けていきたいと思っています。

事業実施状況報告

上半期(4月～9月)		平成29年度	平成30年度
会員数	男	419人	414人
	女	108人	110人
	合計	527人	524人
就業実人員		447人	431人
就業率		84.8%	82.3%
受託件数	公共機関	295件	287件
	民間企業	492件	478件
	一般家庭	1,151件	1,064件
	合計	1,938件	1,829件
契約金額		123,055千円	122,265千円

全体の契約金額は若干減

昨年度と比較すると女性会員は2名増えたものの全体では3名の減となりました。会員の高齢化が進んでおり、今後就業開拓をするうえでの課題となっています。今期は酷暑の中での除草・植木剪定作業が続き会員への負担も大きかったことなどが影響し、上半期の契約金額が789,936円の減となりました。また6月以降は、除草・植木剪定作業ともに受注が込み合い作業の進捗にも遅れが出ました。その他の屋内清掃作業やサービス群などは例年どおり順調に推移しています。



編集・発行 公益社団法人 成田市シルバー人材センター 広報部会
 〒286-0819 成田市久住中央1丁目12番地3
 TEL 0476-36-6161 FAX 0476-36-6711
<http://webc.sjc.ne.jp/narita/index>
 E-mail: narita@sjc.ne.jp

〈受付時間〉
 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
 (土日・祝日、年末年始除く)



編集後記

本紙も内容をリニューアルして3号目となりますが、毎回頭を悩ますのが表紙の写真です。年2回とはいえ、特に新年号については正月らしさもないと。考えた末に思いついたのが昨年10月にJR成田駅前 completion した「成田からくり時計」です。成田に思い入れのある人から寄贈されたというこの時計は、定時になるとお囃子を演奏したり、歌舞伎を演じたりします。この日は周辺の清掃を担当するシルバー会員も一緒に表紙に収めようと撮影したのですが、新年ということも歌舞伎の部分だけ採用に。会員の着ていたユニフォームのベスタの色が縁起物の「橙」で正月らしかったのですが、やはり歌舞伎役者には勝てませんでした。